



# 2018年3月期 第3四半期 決算補足資料

証券コード：6908

2018年2月2日

イリソ電子工業株式会社

## 車載市場向けを中心に好調。売上、利益ともに過去最高を更新

- ・ 売上面では前年同期比13.9%増。四半期単独売上が3四半期連続で100億円を超え、3Q累計でイリソ史上初めて300億円を突破。  
円安の影響も一部あるものの、車載市場を中心に堅調に増加
- ・ 利益面では、売上の増加と原価低減活動、円安の影響により増益となり、営業利益率は前年同期比3.5ポイント増の19.6%となった

### 【市場別】

- ・ 車載市場：ADASの進展により搭載が加速している安全系(カメラ・レーダー)向けや三次元可動BtoBコネクタ“Z-Move™”を含むパワートレイン系が好調。  
カーエレクトロニクス分野は過去最高売上を4四半期連続で更新し、AVN分野を上回る売上へ
- ・ インダストリアル市場：中国を中心としたFA機器の需要増により、好調を維持。  
PLC、サーボアンプ、インバーター向け等で増加

### 【地域別】

- ・ 国内：車載市場、インダストリアル市場が好調で増収
- ・ アメリカ：車載市場でカーAVN分野、カーエレクトロニクス分野ともに増収
- ・ 中華・韓国圏：カーエレクトロニクス分野、インダストリアル市場を中心に増収
- ・ 欧州：車載市場で安全系を中心に好調で増収

### 【トピックス】

- ・ 「2017国際ロボット展」に出展。イリソのロボット組立対応技術を広くアピール

## 2. 2018年3月期第3四半期連結業績(前年同期比)



単位：百万円

	17.3期 第3四半期	18.3期 第3四半期	前年同期比
売上高	27,775	31,641	3,866 113.9%
営業利益	4,479	6,196	1,717 138.3%
経常利益	4,687	6,087	1,399 129.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	3,383	4,424	1,040 130.7%
EPS	144.07円	186.87円	
為替レート 期中平均	ドル 107.88円 ユーロ 119.13円	111.82円 128.59円	3.94円 9.46円



### 3. 売上高詳細(市場別)



単位：百万円

		18.3期 第3四半期	前年同期比	構成	増減要因
オートモーティブ(車載)		26,687	114.2%	84.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ADASや電動化、電装化の進展を背景にエレクトロニクス分野が増加。AVN分野を上回る売上へ</li> <li>・ ADAS関連で安全系(車載カメラ、レーダー)向けが引き続き堅調で、前年同期比約160%</li> </ul>
区分	AVN (カーAV、ナビゲーションシステム等)	12,912	105.0%	40.8%	
	エレクトロニクス (安全系、電装関連、駆動系等)	13,775	124.3%	43.5%	
コンシューマー (OA、ゲーム機、デジカメ、携帯電話、TV等)		3,309	102.4%	10.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ OA機器(プリンター、複合機)向けで増加</li> </ul>
インダストリアル (産業機器等)		1,645	140.6%	5.2%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PLC、サーボアンプ、インバーター向け等で増加。</li> </ul>
合計		31,641	113.9%	100.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外比率78.7%</li> </ul>

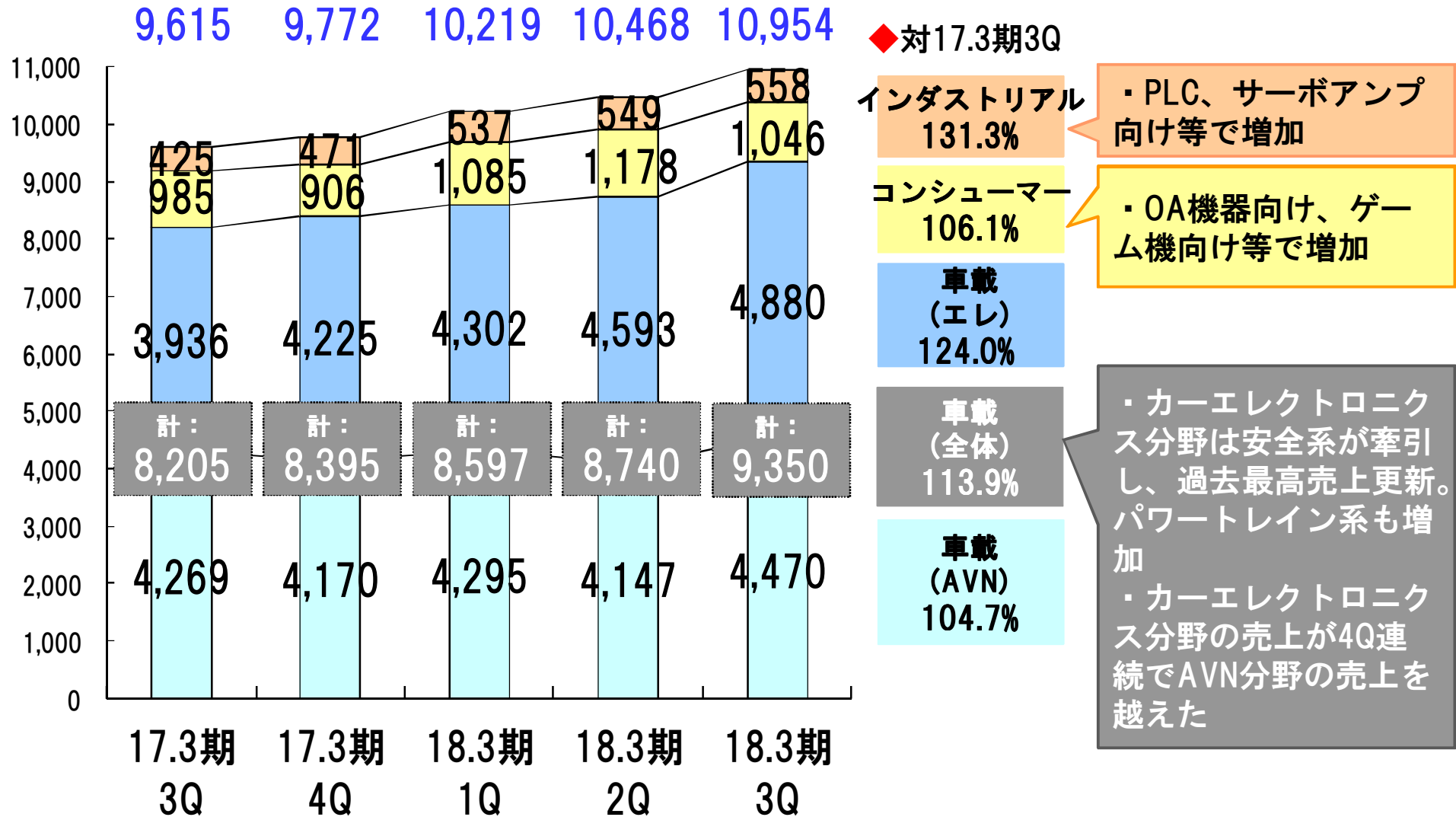
注：AVNIは、オーディオビジュアルナビゲーションの略で、カーオーディオ全般、ナビゲーションシステム等のこと



# 4. 市場別売上高(四半期推移)



単位：百万円

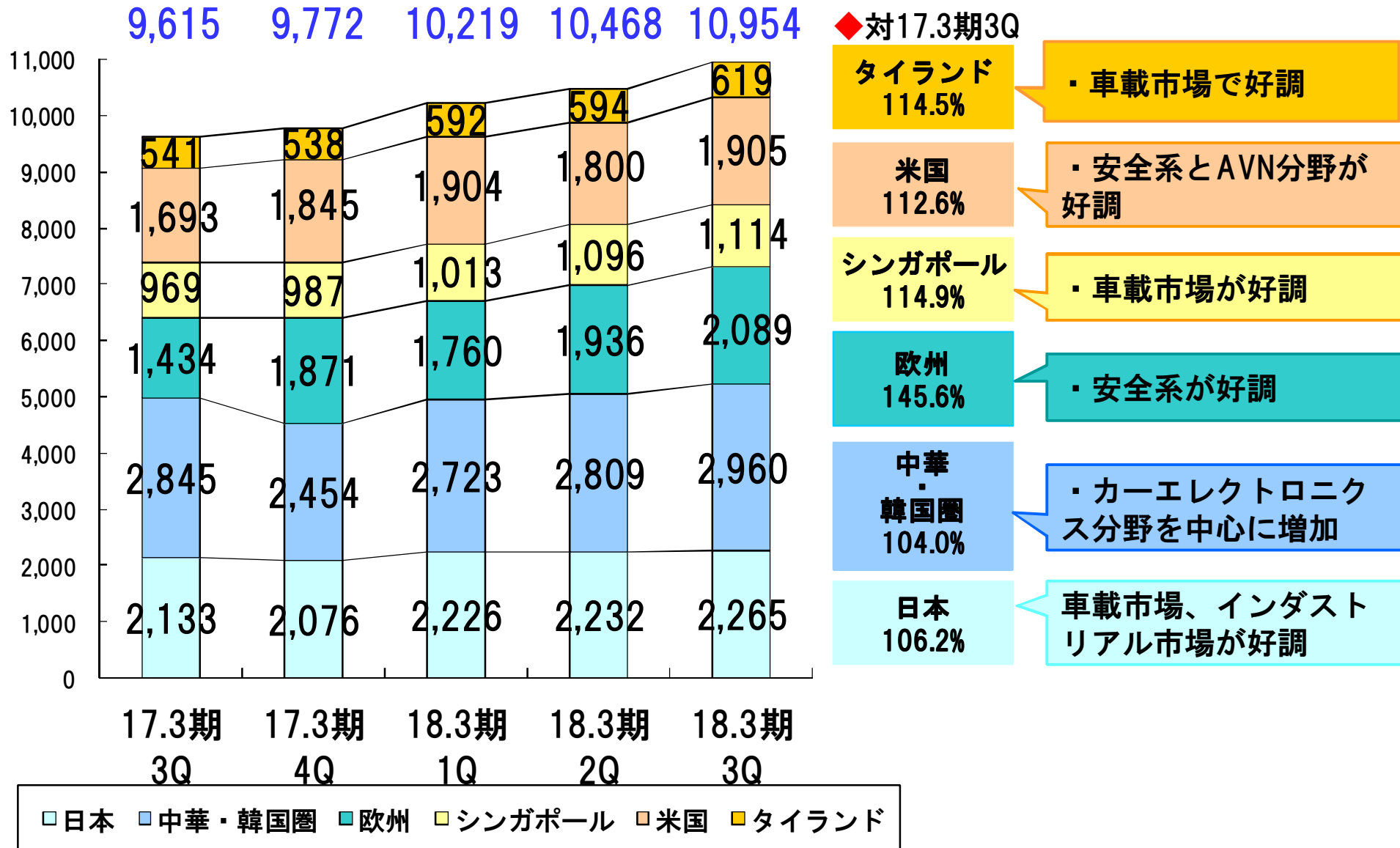


■ 車載 (AVN)   
 ■ 車載 (エレクトロニクス)   
 ■ コンシューマー   
 ■ インダストリアル

# 5. 地域別売上高(四半期推移)



単位：百万円

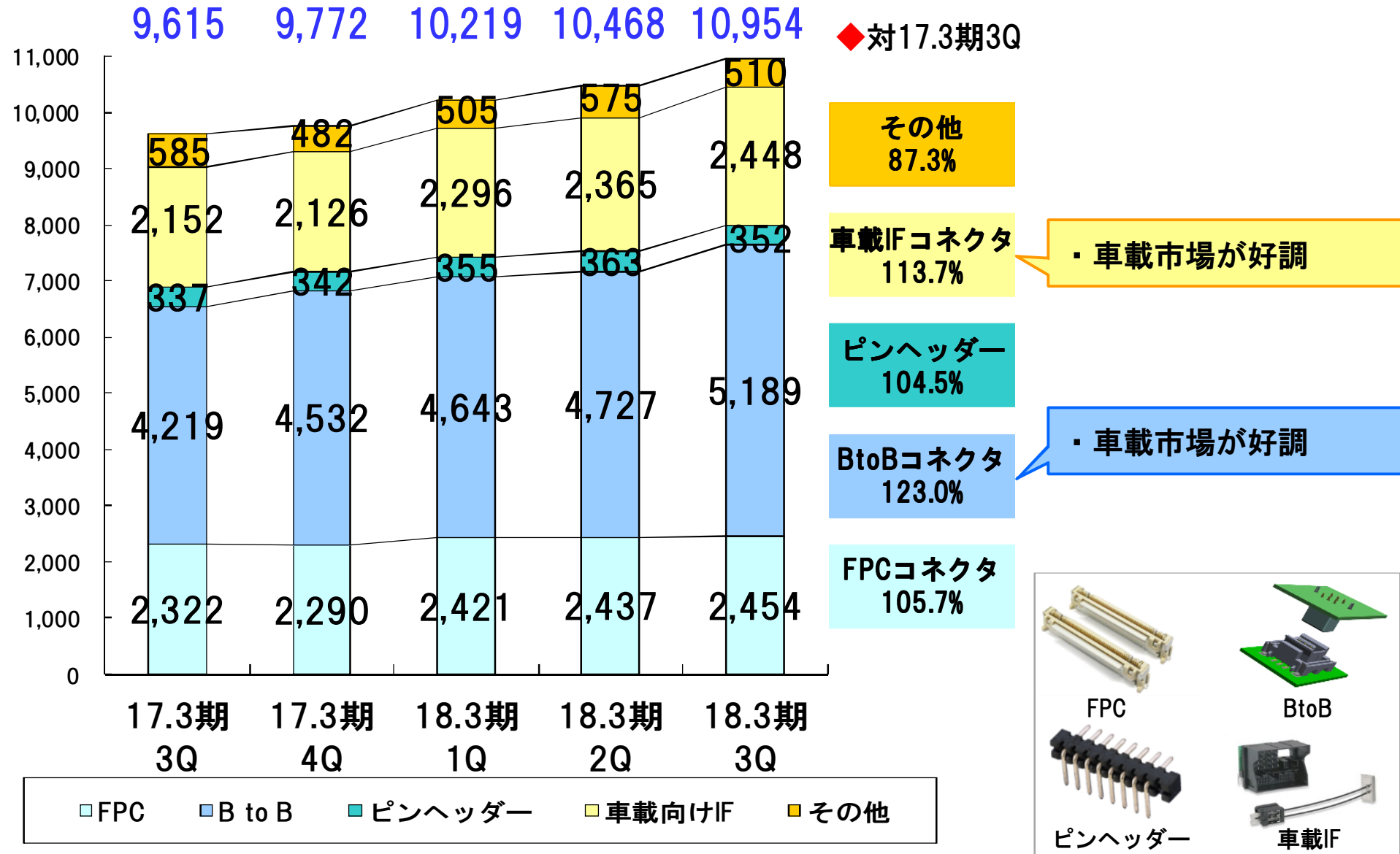




# 6. 製品別売上高(四半期推移)



単位：百万円



## 7. 損益計算書(連結)(前年同期比)



単位：百万円

	17.3期 第3四半期	18.3期 第3四半期	前年同期比
売上高	27,775 100.0%	31,641 100.0%	3,866 113.9%
売上原価	17,976 64.7%	19,490 61.6%	1,514 108.4%
売上総利益	9,798 35.3%	12,150 38.4%	2,351 124.0%
販売管理費	5,319 19.2%	5,953 18.8%	634 111.9%
営業利益	4,479 16.1%	6,196 19.6%	1,717 138.3%
営業外収益	228 0.8%	74 0.2%	△153 32.7%
営業外費用	20 0.1%	184 0.6%	164 917.6%
経常利益	4,687 16.9%	6,087 19.2%	1,399 129.8%
特別損益	△15 △0.1%	△114 △0.4%	△99 768.3%
税前利益	4,673 16.8%	5,972 18.9%	1,299 127.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,383 12.2%	4,424 14.0%	1,040 130.7%
E P S	144.07	186.87	-
為替レート (ドル/ユーロ)	107.88円/	111.82円/	3.94円/
	119.13円	128.59円	9.46円



## 8. 貸借対照表(連結)(前期末比)



単位：百万円

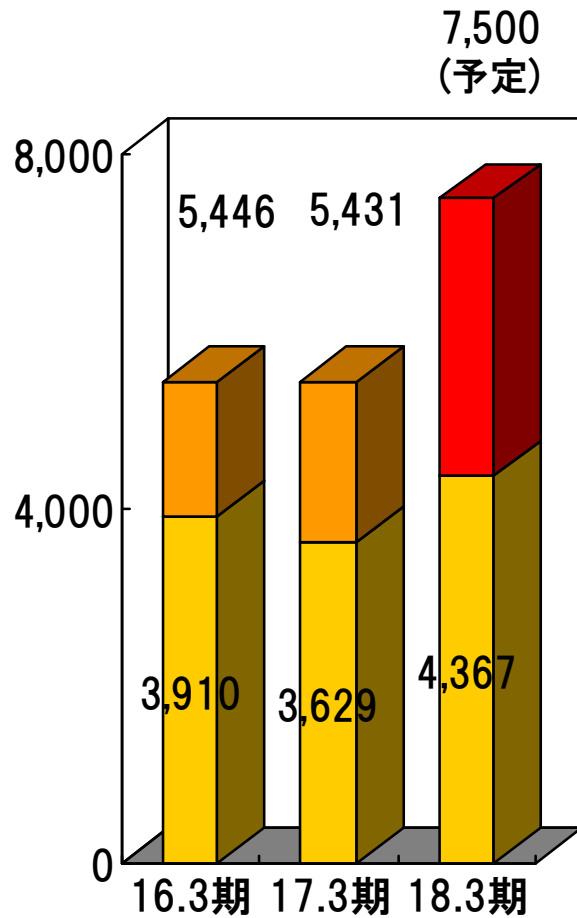
	17.3期	18.3期 第3四半期	前期末比	増減要因
流動資産	31,828 60.8%	36,290 61.3%	4,461	現金及び預金1,652 受取手形及び売掛金1,458 原材料及び貯蔵品498
固定資産	20,534 39.2%	22,939 38.7%	2,404	有形固定資産2,258
資産合計	52,363 100.0%	59,229 100.0%	6,866	
流動負債	7,000 13.4%	9,055 15.3%	2,054	支払手形及び買掛金1,283 未払金253 設備支払手形215
固定負債	669 1.3%	694 1.2%	24	
負債合計	7,670 14.7%	9,749 16.5%	2,079	
株主資本	42,737 81.6%	46,458 78.4%	3,720	利益剰余金3,721
その他の 包括利益累計額	1,715 3.3%	2,742 4.6%	1,026	為替換算調整勘定1,024
非支配株主持分	239 0.5%	278 0.5%	39	
純資産合計	44,692 85.4%	49,479 83.5%	4,787	1株純資産 2078.27円 (前期末 1,877.72円)
負債・純資産 合計	52,363 100.0%	59,229 100.0%	6,866	



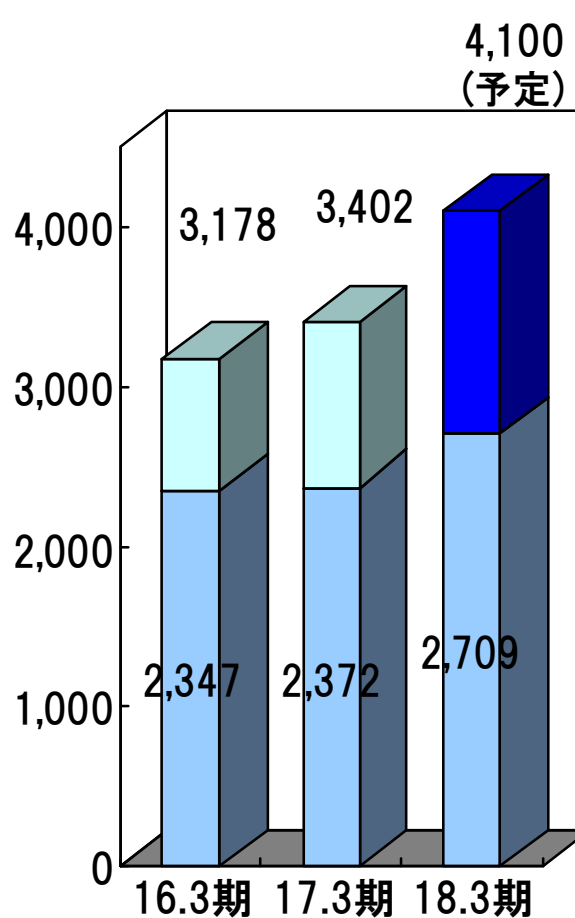
# 10. 設備投資・減価償却・研究開発



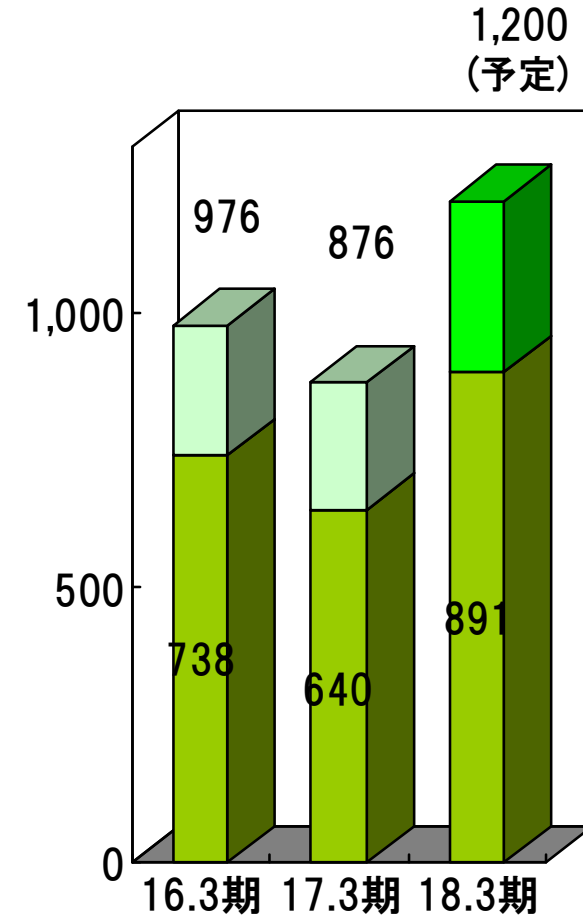
単位：百万円



## 設備投資



## 減価償却



## 研究開発

注：各グラフの数値は、下段に第3四半期累計の実績、上位に通期での実績(18.3期は予定)を記載

# 11. 2018年3月期 修正計画(2017年10月30日公表)

単位：百万円

上期の実績や為替の状況を考慮し、期初計画を2017年10月30日に修正致しました。  
 (下期為替前提：ドル110.00円、ユーロ125.00円、元16.80円)

	17.3期 実績	18.3期 期初計画	18.3期 修正計画
売上高	37,547	40,000	41,500
営業利益	6,661 (17.7%)	7,200 (18.0%)	7,900 (19.0%)
経常利益	6,750 (18.0%)	7,200 (18.0%)	7,800 (18.8%)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	4,875 (13.0%)	5,200 (13.3%)	5,800 (14.0%)
EPS	207.16円	219.65円	245.00円
為替	ドル 109.03円 ユーロ 119.37円 元 16.20円	ドル 110.00円 ユーロ 120.00円 元 15.80円	ドル 110.76円 ユーロ 125.88円 元 16.62円

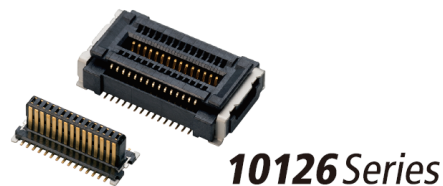
### 「2017国際ロボット展」に出展しました

- ・ 開催期間：2017年11月29日～12月2日 ・ 来場者数：13万人
- 「ロボット組立適合コネクタ」を構成する3つのテクノロジーの製品群 (フローティング、Auto I-Lock™、2点接触コネクタ)の展示、ならびにこれらを使用した実機組立のデモンストレーションを実施致しました

### ロボット組立を実現する、イリソの3つのテクノロジー

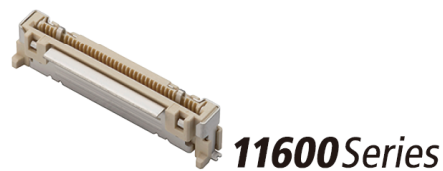
#### フローティングテクノロジー

接続部の可動により、基板位置ズレを吸収。信頼性の高いロボット組立を可能に!!



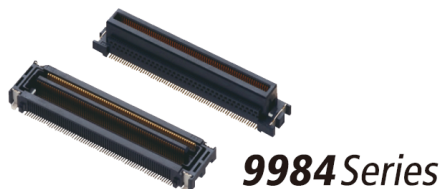
#### Auto I-Lock™

カード挿入時に自動でロック。確実な嵌合で、ロボット生産や検査工程を効率化!!



#### 2点接触コネクタ

ワイピング機能で付着した異物を自動除去。歩留まりを改善し、生産性を大幅に向上!!



会 社 名	:	イリソ電子工業株式会社
事 業 内 容	:	各種コネクタの製造・販売
設 立 年 月	:	1966年（昭和41年）12月
社 員 数	:	3,324名（平成29年9月30日現在）
資 本 金	:	5,640百万円（平成29年9月30日現在）
本 社	:	神奈川県横浜市港北区新横浜2-13-8
営 業 拠 点	:	
国 内		本社、岩手県、茨城県、愛知県、大阪府
海 外		シンガポール、香港、アメリカ、ドイツ、タイ、韓国 中国（上海、大連、天津、蘇州）、マレーシア、台湾、 インド
研 究 開 発	:	本社（イリソテクノロジーパーク）、 川崎（生産技術センター）、上海R&Dセンター
工 場	:	茨城県、中国（上海）、フィリピン、 ベトナム（ハイズン）

## コネクタの種類

### 基板対基板コネクタ（BtoBコネクタ）

プリント基板の接続用に開発されたコネクタの総称でボード・ツー・ボードコネクタ（ボードtoボードコネクタ）とも呼ばれる。垂直接続、平行(スタッキング)接続、水平接続など組み合わせで、さまざまな接続が可能となる。B to B（ビー・ツー・ビー）は、当社の登録商標として市場で広く浸透している。

### FPC/FFCコネクタ

FPC基板（Flexible printed circuits）やFFCケーブル（Flexible flat cable）の接続用に開発されたコネクタの総称。コネクタの挿入時に力を加えずにロック可能なZIF（Zero insertion Force）タイプ、挿入したときに力が発生するNON-ZIFタイプがある。

### I/Fコネクタ

I/Fとは、インターフェイスの略で、機器間の信号の接続を行うコネクタのことで、I/O（インプット/アウトプット）コネクタとも呼ばれる。カーナビ、PCなどさまざまな機器の側面（裏・表面）に装着され、機器への電源供給、音声・映像信号データなどの入出力を行う。

### ピンヘッダー

線材をカット加工した“ピン（電導体）”をハウジング（樹脂材でできた絶縁体）で支えたプラグ（オス側）コネクタの基本形であり、さまざまな分野・機器の内部接続（基板間接続）に使用されている。横から見ると、生け花の花止め“けんざん”のように見えるのが特長。メス側はソケットと呼ばれる。

この資料に記載されております業績の予想数値につきましては、本資料の発表日現在で得られた入手可能な資料に基づいて作成したものであり、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の見通しのみに依拠してご判断されることはお控え下さるようお願いいたします。

なお、本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。